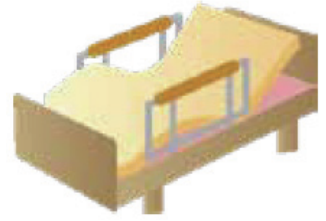


介護用ベッド

作業療法士 中沢宏彰



介護用ベッドとは、起き上がりや立ち上がりなどの動作を補助するとともに、介助者の負担を軽減する機能を備えたベッドです。

押ボタン式スイッチの操作で床板が電動式で可動し、背中部分や足の部分の角度調整、高さの調整などをおこなうことができるベッドです。またサイドレールやマットレス、テーブルなどの付属品類と組み合わせて使用することができます。介護保険制度において貸与される福祉用具のひとつです。

今回は基本的な機能や注意点についてお話しします。

今回は、在宅生活で使用されている介護用ベッドについてお話しします



1. 介護用ベッドの機能

主に背上げ、膝上げ、高さ調整の3つの機能がります。

背上げ：ベッドの背を上げることで起き上がる動作を助けてくれます。また食事の介助や車いすへ移動する際にも便利な機能です。呼吸機能に障害のある方の痰の貯留予防や減などを目的に使用されることもあります。

膝上げ：ベッドの背を上げると足側へ体が滑ってしまいます。このような時に背上げをする前に膝を少し曲げておくことで体の滑りを防止することができます。また膝の関節が伸びにくくなってしまった方に、膝の部分上げることで関節への負担の軽減を図ることができます。足を挙上することでむくみの軽減を図ることができます。

高さ調整：立ち上がりやすい高さに調整することができ、足裏がしっかりと接地する高さにするすることで座る姿勢の安定を図ることができます。また介助者は介助のしやすい高さに調整することで腰痛などの予防をすることができます。

2. ベッドの長さ

使用される方の身長に合わせて適切なサイズのものを使用することが大切です。

サイズ	身長	長さ×幅
ミニ	170cm 未満の方向け	長さ 180 cm × 幅 83 ~ 85 cm
レギュラー	170cm 未満の方向け	長さ 191 cm × 幅 91 ~ 93 cm
ロング	176cm 以上の方向け	長さ 205 cm × 幅 91 ~ 93 cm

※数値はあくまで目安です。

3. モーター数

モーターの数によって背上げ、膝上げ、高さ調整など行える機能が異なります。

1 モータータイプ	背上げまたは高さ調整のいずれかの機能をもったタイプ
2 モータータイプ	背上げと高さ調整の機能をもったタイプ
3 モータータイプ	背上げと膝上げ、高さ調整の機能をもったタイプ

4. 注意点

1. ベッドの高さ調整や背上げ機能を使用する際は、コード、車いすなどを巻き込んでしまうことがあるため、周りの環境に注意をしてください。
2. 就寝時に転落の危険がある場合は低床型ベッドの選択も検討してみてください。また就寝時は一番下までベッドの高さを下げしておくなどの対策も検討してみましょう。



3. サイドレールや介助バーの隙間に体を挟み込んでしまう場合があるため、注意してください。また利用者の判断能力が低下している場合は、誤作動防止のためにコンセントをこまめに抜き差しする必要もあります。